



東地中海地域ニュース

シリア：ムアッリム外相のオバマ米大統領に対する発言 (4月7日付ナフィール紙)

6日、第2回文明の同盟 (the Alliance of Civilization) フォーラム出席のためイスタンブールを訪れたムアッリム外相がインタビューに答えている。

1. フォーラムにおけるオバマ大統領の発言は、エルサレムを首都とするパレスチナ国家樹立による二国家解決、及び全てのトラックにおける包括的和平合意と、そこにおけるトルコの役割の推進に対する志向を明確に反映したものであり、前向きなものであった。
2. しかし、その方向に進むためには、我々は米イスラエル関係の性質を知っておく必要がある。国連総会決議 194 の実施を通じたパレスチナ難民帰還権といった本質的問題は無視できない。よって、二国家解決、マドリード和平会議、国際的に正当な決議、及びアラブ和平イニチアチブを認めないイスラエルの極右急進政権を米がどのように扱うか見極めなければならない。